

### 3. 在宅人工呼吸療法開始に向けて家族が習得しておく項目

- 患者及び家族が在宅療養を選択した場合には、在宅療養への移行が円滑に行くよう入院中から主治医、病棟看護職員等が連携して、計画的に家族、在宅関係者への指導や助言が十分できる体制をとることで、不安なく安全な在宅療養に移行できる。
- 在宅療養を想定した一日 24 時間のスケジュールを立て、在宅療養で必要となるケアの手技・注意点や緊急時の対応方法について、入院中に家族(介護者)が実際に体験できるよう退院支援計画を立てる。
- 介護者への指導の際にはできるだけ在宅療養で使用する医療機器等を用いて行う。
- 介護する家族が複数いる場合は、全員が体験できるようにしておく。特に吸引、気管カニューレが抜けた時の対処法、カニューレ交換、アンビューバッグ等の使用、酸素の使用等についてはきちんとできるようにしておく必要がある。

\* 具体的な退院指導については資料⑧を参照